

基本目標	1 ～そうさ!!匠瑛で働こう～ 地域における若者の雇用を創出する
関係課	産業振興課

1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
市内事業所従業員数	14,900人	14,729人	-	-	-	-		-
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul>	市内事業所従業員数の増加に向けては、市の様々な分野における一体的な産業振興が必要となる。そのため、下記具体的施策に掲げた事項をバランスよく推進していく必要がある。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> <li>・課題解決方法</li> </ul>	今後も具体的施策を推進していくとともに、産業間の連携についても視野に入れながら取り組んでいく。							

2 具体的施策とKPI

(1) 農林水産業の活性化

① 「日本有数の植木のまち」の推進

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A アンタルヤ国際園芸博覧会を契機とした植木売買取締締結数	2件	0件	0件	3件	3件	3件		◎
B 植木めぐりツアー、まち歩きコースなど観光コンテンツの作成	3件	0件	0件	2件	2件	3件		◎
C 植木めぐりツアー、まち歩きコースなど観光コンテンツの参加者数	120人	0人	0人	0人	0人	362人		◎
D 千葉県銘木100選登録数	48本	42本	45本	57本	58本	60本		◎
E 輸出樹種数	12樹種	9樹種	9樹種	9樹種	9樹種	10樹種		○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul>	A 既にKPIを達成。トルコとの繋がりが構築されたことにより、今後も継続的な引き合いが見込まれている。							
	B 植木ガイドマップの中でコースを設定（徒歩コース1件・ドライブコース1件）するとともに、JR主催「駅からハイキング」で市内の植木・銘木等を見られるコースを作成した。引き続き、植木産業の更なるコンテンツ化を図る。							
	C JR主催「駅からハイキング」を実施し、市内の植木・銘木等を見られるコースとした。							
	D 既にKPIを達成。							

	E	輸出の現場では、出荷相手国のニーズや検疫体制に適合した樹種の選定が行われている。
今後の方針等 (取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)	A	引き続き輸出について情報収集や、生産者に対する財政支援等を行う。
	B	引き続き新たなコースを検討する。 特に、現状のコースは駅から出発するルートのため、市の北部・南部のルートを検討する。
	C	上記コース作りと連動し、まち歩きツアーやバスツアー等を企画・実行を検討する。
	D	今後も植木組合等と連携し、候補木の掘り起しを継続する。
	E	国際的な展示博覧会への出展やバイヤー誘致等を通じて、出荷相手国のニーズや検疫体制に適合した樹種の選定を継続する。

② 新規就農者の確保

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	認定農業者数	280件	254件	263件	270件	271件	273件		○
B	認定新規就農者数	10件	3件	5件	9件	8件	11件		◎
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	認定制度の周知等による新規認定者の確保及び認定期間満了者への更新を促すことにより、順調に進捗している。 認定者の高齢化・後継者不足が課題である。						
		B	既にKPIを達成済み。						
今後の方針等 (取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	現在の取組みを継続するとともに、集落営農等、農業経営の法人化を推進するなど、地域の後継者となる担い手の育成に向けた取組みが必要である。						
		B	現在の取組みを継続するとともに、就農後のサポート体制を強化するなど、農業経営の安定化に向けた支援を進めていく。						

③ 農業の企業経営化の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	経営体育成基盤整備(大区画)事業着手数(累計)	3地区	3地区	3地区	3地区	3地区	3地区		◎
B	複合経営に取り組む農家(事業体)数	200件	141件	148件	145件	152件	154件		○
KPI実績値に対する課題等 ( ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 )		A	既にKPIを達成。						
		B	市内の複合農家は、水稲経営との複合経営に取り組む農家が主である。近年、水稲経営については、小規模農家から水稲専作の大規模経営体への経営委託が増加傾向にあるため、進捗は芳しくない。						
今後の方針等 ( ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 )		A	事業完了後の農地集積を推進する。						
		B	水稲複合農家の大幅な増加は見込めないため、それ以外の複合経営について、関係機関と連携し検討・推進していく必要がある。						

④ 6次産業化の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	6次産業化に取り組む農家(事業体)数	20件	17件	16件	16件	16件	17件		○
KPI実績値に対する課題等 ( ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 )		A	6次産業化に取り組む農家数は、近年横ばいの状態が続いており、大きな動きがみられない。						
今後の方針等 ( ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 )		A	海匠農業事務所や6次産業化サポートセンター等、県の機関とも連携し、6次産業化や農商工連携を志す農業者への積極的な支援を行っていく。						

⑤ 生産基盤の強化と施設などの保安全管理

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	農地利用集積面積	804ha	344ha	359ha	377ha	427.1ha	453.2ha		○
KPI実績値に対する課題等 ( ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 )		A	土地所有者や認定農業者、農業委員等の協力により農地集積を推し進めているが、目標は未達成である。						
今後の方針等 ( ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 )		A	引き続き農業委員会と連携し、休耕地の所有者や担い手へ貸借・売買を積極的に呼び掛けていく。						

⑥ 耕作放棄地の発生防止・解消

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	耕作放棄地面積	480ha	517ha	520ha	521ha	521ha	521ha		×
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul>		A	多面的機能支払交付金事業により、活動組織が遊休農地発生防止のため、点検や草刈り等を実施した。 国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業（～H30）については活用がなかった。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> <li>・課題解決方法</li> </ul>		A	引き続き各種事業の活用や、農業者に対する周知と連携を推進し、耕作放棄地の発生防止に努める。						

(2) 産業振興および産業間連携の推進

① 地域外からの企業誘致の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	地域外からの企業誘致数	1件	0件/年	0件	0件	0件	1件		◎
B	企業誘致条例による奨励措置適用事業所数	6か所	5か所	7か所	9か所	10か所	13か所		◎
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul>		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗活用支援事業補助金の活用により、市外の法人が匠瑤市に営業所を設けた。</li> <li>・空き用地の不足により、新たな企業誘致が積極的に行えていない。</li> <li>・空き公共施設については、企業からの進出要望があるものの、誘致には結び付いていない</li> </ul>						
		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「企業誘致及び雇用促進に関する条例」による企業誘致を行った。更なる制度の周知が課題である。</li> </ul>						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> <li>・課題解決方法</li> </ul>		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗、空き用地の情報をワンストップで提供する仕組みづくりを検討する。また、空き公共施設への企業誘致を推進する。</li> </ul>						
		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と連携して制度の周知を行うとともに、必要に応じて対象業種等制度の見直しを行う。</li> </ul>						

② 起業支援の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	年間起業数	10件/年	4件/年	4件/年	3件/年	12件/年	4件/年		○
B	経営相談指導件数	2,500件/年	1,902件/年	2,303件/年	2,491件/年	2,486件/年	2,569件/年		◎
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	創業支援事業計画に基づき創業塾を実施したほか、創業資金利子補給補給金制度や空き店舗活用支援事業補助金により起業を支援した。						
		B	市で起業等に係る相談を受けた際に、必要に応じて商工会が実施する創業支援事業等を紹介し、商工会での経営相談指導へつなげた。						
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	創業塾等による経営ノウハウの習得や、創業者への補助金制度の創設等を通して、年間起業数の増加を図る。						
		B	引き続き商工会等と連携し、創業や経営の安定化に向けた支援を行う。						

③ 若者の就労支援

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	市内企業と若者のマッチング支援による就職者数	10人	0人	0人	0人	0人	0人		×
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	・県と連携し、高校生と企業との意見交換会を実施した。 ・ハローワークと連携した「出張ハローワーク」を実施した。 ・創業支援等事業計画に「創業機運醸成事業」を追加し、変更認定を受けた。本計画に基づき、翌年度以降、地元高校生への起業教育事業を実施する。 ・現状では、個々の取組が市内企業への就職に結びついたか実績値の把握が困難である。						
		A	上記の取組のほか、合同就職説明会や就職セミナーの実施を検討していく。その際、KPI実績値の把握方法についても留意する。						

④ ブランド化の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	ブランド商品選定数	10品	0品	13品	13品	17品	17品		◎
B	新たな特産品開発数	1品	0品	0品	0品	0品	0品		×
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 実績値の要因 課題)		A	・平成30年度に新たに選定した「匠達の逸品」はなかった。 ・「匠達の逸品」について、市内外への周知が課題である。						
		B	・個々の事業者が新商品開発などを実施しているが、市の特産品としては印象づけられていない。 ・そうさブランド研究会事業への助成を行った。						
今後の方針等 (取組方針 実施予定事項 課題解決方法)		A	・「匠達の逸品」について、市内外への周知を行うとともに、他事例を参考に制度の改善を検討する。						
		B	・新商品開発に係る情報収集を行うとともに、農商工連携や地域資源活用を支援し、公民一体となって、市の特産品開発につなげる。						

⑤ 効果的な観光情報の発信

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	観光ガイドブックによるおすすめルート設定数	10ルート	4ルート	4ルート	4ルート	7ルート	9ルート		○
B	匠瑳市をロケ地とする映画・番組数	10本/年	7本/年	5本/年	4本/年	4本/年	6本/年		○
C	歴史的建造物などを活用したイベント開催件数	3回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年		△
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 実績値の要因 課題)		A	前年度設定済みの7ルートに加え、野栄地区の史跡・文化めぐりルート、ふれあいパーク周辺散策ルートの2件が加わった。						
		B	平成30年度は、ロケ地の候補として9件の問い合わせがあり、誘致を図ったが、内3件は撮影条件が合わず、採用に至らなかった。						
		C	従来から開催している「飯高檀林跡」でのコンサート2回にとどまっている。						
今後の方針等 (取組方針 実施予定事項 課題解決方法)		A	引き続き、新規ルートの開拓に努める。						
		B	映画・番組等の制作会社と、ロケ地となる施設等との相互調整を迅速かつ正確に行い、ロケ誘致に努める。						

	C	「飯高檀林跡」に加え、他の歴史的建造物を活用したイベントの開催を検討する。
--	---	---------------------------------------

⑥ 中小企業の経営基盤強化

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	中小企業組合の設立件数	2件/年	0件/年	0件/年	0件/年	0件/年	1件/年		○
B	融資および利子補給制度利用件数	250件	237件	246件	243件	244件	215件		△
KPI実績値に対する課題等 ( <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul> )		A	・中小企業組合の制度周知を実施。平成30年度は1件の設立実績があった。						
		B	・融資件数は増加しているが、利子補給件数は減少している。後継者不足等による休廃業の増加も一因であると考えられる。						
今後の方針等 ( <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> <li>・課題解決方法</li> </ul> )		A	・創業塾等の実施に合わせて本制度の周知を行い、共同仕入れや共同生産、資金調達等におけるメリットを提示し、組合設立を促進する。						
		B	・事業者のニーズに応じた制度設計や融資利率の見直しを実施するとともに、事業承継支援等、新たな中小企業支援策を検討する。						

## 匠瑛市総合戦略 進行管理シート（平成30年度実績）

基本目標	2 ～そうさ!!匠瑛で暮らそう～ 匠瑛市への定住促進を進める
関係課	企画課

### 1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
社会増減数	▲291人		▲177人	▲326人	▲451人	▲569人		△
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul>	<p>下記具体的施策に掲げた事業を実施し数値目標の改善に努めてきたが、依然として人口減少は進行しており、抜本的な対策には至っていない。                      既存の取組を継続することはもとより、移住・定住促進のための事業や取組の充実を検討・実施する必要がある。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> <li>・課題解決方法</li> </ul>	<p>引き続き取組を継続するとともに、移住・定住促進に係る先進事例の研究等を通して、事業・取組の充実を検討する。</p>							

### 2 具体的施策とKPI

#### ① 定住・移住人口の確保

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A 転入者マイホーム取得奨励金を活用した転入者数	380人	188人	284人	344人	423人	508人		◎
B 空き家バンク物件登録数	50件	15件	18件	24件	34件	38件		△
C 空き家バンク成約数	15件	4件	6件	9件	12件	13件		○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul>	<p>A すでに目標値を上回る実績がある。                      市民課窓口や地域イベント、移住相談会や移住ツアー、広報での移住特集、移住パンフレット（本市の紹介や移住者の体験談、各種移住支援制度をまとめたもの）等様々な媒体を通して事業周知を行った。                      関連として、平成30年から移住検討者が利用する「お試し住宅」の運用を開始し、R1.6月現在で1件の利用があった。</p> <p>B 納税通知書に案内チラシを同封したほか、空き家問題全般についての担当課である都市整備課と情報共有や連携を図りつつ、制度の周知や空き家対策を図った。                      その結果、所有者からの相談や連絡は増えたが、物件の状態や価格等の条件により、利用の見込みが少ない案件についての相談も多い。                      関連として、こうした空き家バンクへの登録に至らない物件について、市内のNPO法人と連携し利活用を促進したところ、数件について賃貸借が成立した。</p> <p>C 物件状態や価格等の条件不一致により、成約に結びつかない例が多い。                      空き家バンクの制度や登録物件について、転入者マイホーム取得奨励金と同様に周知した。                      成約数のさらなる増加に向けては、登録物件数の増加、利用者のニーズに合った物件の提供（状態にこだわらず、安価な住宅を求める利用者が多い。）が課題である。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> <li>・課題解決方法</li> </ul>	<p>A 5年以上の居住意思を要件としていることや、世帯での転入が多いこと、アンケート結果などから、事業による定着効果が高いことが伺える。                      引き続き、関連する移住・定住支援施策と併せて周知と利用促進を図る。</p> <p>B 事業の周知について引き続き継続するとともに、空き家バンクへの登録に至らなかった物件について、市内NPO法人と連携し、利活用を促進する。</p>							



	C	引き続き登録物件の周知を図るとともに、空き家所有者に対して利用者のニーズを伝える等、利用者のニーズに合った物件の提供に努める。
--	---	---

② 高校生のまちづくりへの参加

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	匠瑳に住み続けたいと考える高校生の割合	15.0%	9.0%	-	-	-	-		-
KPI実績値に対する課題等 ( ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 )		A 若者との協働の一環として、若者の意見を第2次匠瑳市総合計画の策定の参考とするため、市内2校の高校（匠瑳高校・敬愛大学八日市場高校）の匠瑳市出身の生徒を対象とした「まちづくり座談会」を、下記のとおり開催した（テーマ：匠瑳市を若者にとって魅力あるまちにするために必要なこと等）。 その他、高校生がよかつぱ祭りに参加する機会の提供や、各種ボランティア活動の情報提供を行い、実際に高校生が参加した。 地元産業や文化等への理解を深めることは、将来の地元定着やリターンにもつながることから、今後も高校生が地域のことを知り、関わる機会の創出が必要である。							
今後の方針等 ( ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 )		A 若者が主な構成員となる団体等の地域づくり等の公共的な活動への後援等により、当該活動を支援し、若者の当該活動に対する参画を促進する。 また、高校教育では、今後、課外活動としてのボランティア等や「自ら課題を見出し、周囲と協力して解決する力」が重要視されることとなる。そのため、今後も、ボランティア情報等の情報提供や、よかつぱ祭りへの参加を継続するとともに、高校生が本市を知り、親しみを持てるよう、高校生が参加できる事業を増加させる。 さらには高校等との協働により、「自ら課題を見出し、周囲と協力して解決する力」の育成の一環として市民提案型事業（子どもまちづくり提案型）の提案の促進や、まちづくりへの意見の提案等ができる環境を整える。							

③ 生涯活躍のまちづくり

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	生涯活躍のまちづくり検討のための協議会設置数	1件以上	0件	0件	1件	1件	1件		◎
B	生涯活躍のまち拠点の設置数	1件以上	0件	0件	0件	0件	0件		○
KPI実績値に対する課題等 ( ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 )		A 国の地方創生推進交付金を活用し、匠瑳市版生涯活躍のまち形成事業を実施。市の支援のもと、事業主体の社会福祉法人九十九里ホームが設置した飯倉駅前地区まちづくり協議会において匠瑳市版生涯活躍のまち事業計画を協議し、同法人が計画を策定した。 今後は、東京都等の都市部からの移住者を確保するために、匠瑳市版生涯活躍のまち形成事業のPR・プロモーションが必要である。 また、全国の260余の団体で生涯活躍のまち形成事業が進みつつあることから、東京都等の都市部住民を移住者として確保するために、匠瑳市の特色を活かした匠瑳市版生涯活躍のまち形成事業の創造が必要である。							
		B 匠瑳市版生涯活躍のまち事業の推進に当たり、飯倉駅前地区まちづくり協議会において生涯活躍のまち拠点もつ機能等について協議した。拠点の整備は、事業主体が順次進めているところである。 平成30年4月に事業地内の最初の施設として認定こども園が、平成31年4月に特別養護老人ホームが開設した。引き続き、生涯活躍のまち拠点の機能発揮のため検討と連携構築を進めたい。							
今後の方針等 ( ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 )		A 匠瑳市版生涯活躍のまち事業計画の実現を図るため、事業主体である社会福祉法人九十九里ホームを支援するとともに、引き続き協議会を通じた意見調整や合意形成を図る。							
		B 匠瑳市版生涯活躍のまち形成事業の中で、機能等拠点機能の具体化について検討する予定である。							

## 匠瑳市総合戦略 進行管理シート（平成30年度実績）

基本目標	3 ～そうさ!!匠瑳で育てよう～ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を満たす
関係課	福祉課、健康管理課、学校教育課、企画課

### 1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
合計特殊出生率	1.47	1.35	1.37	1.24	1.23			△
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul>	下記具体的施策に掲げた事業を実施し、結婚・出産・子育て等、それぞれのライフステージに合わせた支援を行った。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> <li>・課題解決方法</li> </ul>	引き続き各施策の実施・充実に努めるとともに、ホームページ等において各種取組に関する情報をわかりやすく提供する。							

### 2 具体的施策とKPI

#### ① 子育て世代のコミュニケーションの充実

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A 年間つどいの広場利用者数	9,000人/年	8,661人/年	8,797人/年	6,919人/年	7,257人/年	6,599人/年		△
B 子育てサークル数	2サークル	1サークル	1サークル	1サークル	1サークル	1サークル		△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul>	<p>A 乳幼児を持つ親子が気軽につどい、情報交換や交流のできる場所を提供するとともに、参加者から寄せられる相談内容や研修等で紹介された子育て支援情報等を盛り込んだ講習会を実施して利用者拡大を図っているが、保育料の第2子半額、第3子無料化等の子育て支援施策の実施により保育所利用者が増加しているため、つどいの広場利用者はあまり増加していない。</p> <p>B 子育てサークルの活動の場の提供、広報等による周知を行ったが、サークル数の増加には至っていない。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> <li>・課題解決方法</li> </ul>	<p>A つどいの広場は子育て支援に関する情報や相談・助言を提供する場として引き続き重要な役割を担うことになる。研修等の受講により子育て支援アドバイザーのスキルアップを図るとともに、利用者の要望を参考に新たな講習会等を実施するほか、福祉課・健康管理課に新たに開設された子育て世代包括支援センターにおいてつどいの広場の周知を図り、利用を促進する。</p> <p>B 民間団体が開催する子育てに関する講習会等を市が後援することで参加者拡大を図り、参加者同士の交流を促進して子育てサークル活動の活性化につなげる。子育て世代包括支援センターにおいてサークル活動の紹介、参加促進を図る。</p>							

② 子育て世代の負担軽減

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度	
A	病児・病後児保育実施か所数	1か所	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所		△	
B	一時保育実施か所数	8か所	7か所	7か所	7か所	7か所	8か所		○	
C	障害児保育実施か所数 (助成か所数)	11か所 (7か所)	11か所 (6か所)	11か所 (0か所)	11か所 (0か所)	11か所 (0か所)	12か所 (0か所)		○	
D	育児休業取得率	男性10.0% 女性40.0%	男性2.6% 女性31.9%	-	-	-	-			
E	子育てについて不安や負担を感じる人の割合	3.0%	5.1%	-	-	-	-			
KPI実績値に対する課題等 ( ) ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		A	病児・病後児保育事業は、看護師等の人材確保に加えて、感染症等に罹患している児童を保育する保育室や医療設備の設置が必要となるため、既存の保育園が実施することは困難である。							
		B	現在民間保育園7園及び認定こども園1園において、一時保育を実施している。							
		C	現在公立・民間保育園及び民間認定こども園において障害児保育を実施している。障害児保育に係る助成金の支給基準を満たす保育士数を確保できていないため、助成か所数はゼロとなっている。							
		D	現状、具体的な取組なし。							
		E	本基本目標に掲げた具体的施策や、「匠瑤市子ども・子育て支援事業計画」に掲げられた施策を推進・実施した。							
今後の方針等 ( ) ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		A	認定こども園を開設した社会福祉法人九十九里ホームと病児・病後児保育事業の実施について協議している。実施に当たっては子ども・子育て支援交付金を財源として運営を補助する。							
		B	民間保育園等8園において一時保育事業を実施する。							
		C	障害児保育については実施済みであるが、助成か所数増加の課題である保育士数の確保に向け、県の補助事業を活用し、保育士の処遇改善を実施する。							
		D	育児休業取得率が高い企業を優良企業として、広報、市ホームページ、SNS等を活用して紹介することを検討する。							
		E	引き続き基本目標に掲げた具体的施策や、「匠瑤市子ども・子育て支援事業計画」に掲げられた施策を総合的に推進し、子育てについての不安や負担の軽減に努める。							

③ 子どもたちの遊び場の確保

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	放課後児童クラブ実施か所数	14か所	11か所	11か所	11か所	11か所	12か所		○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> </ul>		A	目標としていた3か所の増設について、1か所目については、平成28年度から放課後子ども教室を併設した。2か所目については、校舎を改築し活動スペースを増やした。3か所目については、平成29年度から空き教室を1教室増やし活動スペースを増やした。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> </ul>		A	引き続き、入所児童の動向を調査し、必要に応じて増設等を図っていく。						

④ 出産しやすい環境づくり

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	両親学級への参加率	30.0%	22.8%	18.5%	20.4%	24.4%	21.5%		○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul>		A	前年度とは教室の内容を変更し、マタニティクッキング等を取り入れることで、妊娠中の体調・栄養管理や、出産や産後のイメージも持てるように相談・体験・情報提供を行った。初産婦の方には電話勧奨したが、参加率は減少。仕事をしている方も多く、意欲はあるが参加できない方もいた。 また、出産医療機関での両親学級の方が優先度が高くほとんどの方が医療機関で受講しているため、市の両親学級の参加が増えにくいと考えられる。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> <li>・課題解決方法</li> </ul>		A	妊娠届出の面接時に両親学級の対象となる日を伝え、早い時期から両親学級の参加を勧める事で、妊婦が日程の調整をしやすいようにする。 同時に、医療機関で行っている両親学級とは異なる内容であることを説明し、対象者の参加意欲を高める。						

⑤ 婚活支援の充実

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	婚活イベントのカップル数	150組	47組	63組	87組	101組	111組		○
B	婚活サポーター数	10人	0人	0人	0人	4人	4人		○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> </ul>		A	平成30年度は4回の婚活イベントを開催し、合計10組のカップルが成立した。一方で、女性参加者の確保が困難という課題があり、昨年同様に女性の参加者が少なくイベント中止となった事態も発生した。 本事業の認知度・参加者増加のため、より一層の事業周知が課題である。						
		B	平成29年8月1日に婚活サポーター制度を創設し、同年度中に4名の婚活サポーターを委嘱した。 サポーター利用者は14名であり、結婚や出会いに関するアドバイスなど様々なサポートを受けている。 今後は、サポーターの増加に向けた取組や利用者向けの制度周知が必要である。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> </ul>		A	広報や市ホームページ、SNS等様々な媒体での事業周知を、婚活サポーターの協力も得ながら行っていく。 併せて、イベント以外での結婚に向けた支援を、婚活サポーターの協力を得ながら実施する。						
		B	婚活サポーター及び利用者の増加に向けて周知を継続するとともに、新たな方策を婚活サポーターと共に検討していく。						

## 匠瑳市総合戦略 進行管理シート（平成30年度実績）

基本目標	4 ～そうさ!!匠瑳でつながろう～ 地域との多様な連携を進める
関係課	環境生活課、産業振興課、企画課

### 1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
協働によるまちづくりが推進されている と思う市民割合	20.0%	15.7%	-	-	-	24.2%		◎
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul>	平成27年度に匠瑳市市民協働指針、匠瑳市市民協働推進条例を定め、平成28年度から同条例を施行する等、下記の具体的施策に掲げた取組をはじめとして、市民協働推進の主管課である環境生活課での各種事業（市民提案型事業に対する助成等）を通して、協働の理念が根付くよう努めている。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> <li>・課題解決方法</li> </ul>	今後も、協働について庁内及び市民周知を図りつつ、市の様々な事業の中に協働という視点を盛り込むよう努める。							

### 2 具体的施策とKPI

#### ① 多様な主体による連携・協働の促進

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A 市内企業と若者のマッチング支援による就職者数（再掲）	10人	0人	0人	0人	0人	0人		×
B 婚活サポーター数（再掲）	10人	0人	0人	0人	4人	4人		○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事項</li> <li>・実績値の要因</li> <li>・課題</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県と連携し、高校生と企業との意見交換会を実施した。</li> <li>・ハローワークと連携した「出張ハローワーク」を実施した。</li> <li>・創業支援等事業計画に「創業機運醸成事業」を追加し、変更認定を受けた。本計画に基づき、翌年度以降、地元高校生への起業教育事業を実施する。</li> <li>・現状では、個々の取組が市内企業への就職に結びついたか実績値の把握が困難である。</li> </ul> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年8月1日に婚活サポーター制度を創設し、同年度中に4名の婚活サポーターを委嘱した。</li> <li>サポーター利用者は14名であり、結婚や出会いに関するアドバイスなど様々なサポートを受けている。</li> <li>今後は、サポーターの増加に向けた取組や利用者向けの制度周知が必要である。</li> </ul>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針</li> <li>・実施予定事項</li> <li>・課題解決方法</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記の取組のほか、合同就職説明会や就職セミナーの実施を検討していく。その際、KPI実績値の把握方法についても留意する。</li> </ul> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>婚活サポーター及び利用者の増加に向けて周知を継続するとともに、新たな方策を婚活サポーターと共に検討していく。</li> </ul>							

② 交流人口の増加

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	観光入込客数	1,100,000人/年	1,017,659人/年	976,678人/年	954,059人/年	1,018,015人/年	1,002,320人/年		△
B	宿泊客数	18,500人/年	18,460人/年	14,313人/年	5,553人/年	4,550人/年	6,329人/年		○
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	市場まつり、八重垣神社祇園祭などの各種イベント、ふれあいパーク八日市場、飯高寺、匝りの里などの観光地等の入込客数を調査した。また、観光地としての認知度が高まったことから、「松山庭園美術館」を新たに追加した。						
		B	「ビジネスホテル竹屋」「ふくろう邸」を新たに追加し、調査を行った。						
今後の方針等 (取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	各種イベント内容の充実、観光情報の周知に努め、入込客数増加を図る。						
		B	宿泊業を営む企業の固定資産税免除措置等により、宿泊施設の誘致を図る。						

③ 都市と農村の交流の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31・R1)	進捗度
A	市民農園利用者数	90人	29人	32人	33人	31人	31人		○
B	農業体験・交流イベント参加者数	700人/年	560人/年	767人/年	599人/年	501人/年	416人/年		△
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	第一市民農園、第二市民農園ともにの利用者数はほぼ変動はなかったものの、特に第二市民農園の区画利用率は依然として低水準であり、その向上が課題である。						
		B	食育体験イベント等いくつかのイベントが荒天等の影響で中止となり、参加者数が減少した。また、体験・交流イベントはニーズが大きいものの、新たに取組む農業者等の発掘に難航している。						
今後の方針等 (取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	観光事業との連携より、一層のPRを推進する。市民協働センターと連携を強化し、市内団体による空き区画の活用・農園のPRを推進する。利用促進に当たり、市内外の教育機関や企業等と連携した活用を検討する。						
		B	既存の体験・交流イベントについては、定着化や自走化を目指して、実施回数やコンテンツ内容の更なる充実を図るとともに、新たな担い手の発掘・育成にも努める。						